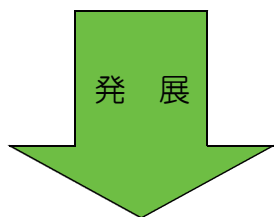


3 「スタンダード」と「スタンダードPLUS+」の関連性等について

○「京の子ども元気なからだスタンダード」



- ・小学校3、4年生を対象
- ・基礎的動作スキルの獲得状況の把握
陸環境編（6つの項目）…計12動作課題
水環境編（1つの項目）…計4動作課題

○「京の子ども元気なからだスタンダードPLUS+」



〔ポイント〕
動きの発展、複合的な動き
中学校への接続

- ・小学校5、6年生を対象
- ・発展的動作スキル（これまでに獲得した**複数の動作を同時に行う**）の獲得状況の把握
4つの項目（動作スキル） 計8動作課題

〔参 考〕 小学校体育科、中学校保健体育科の内容

（運動・体育分野の領域）

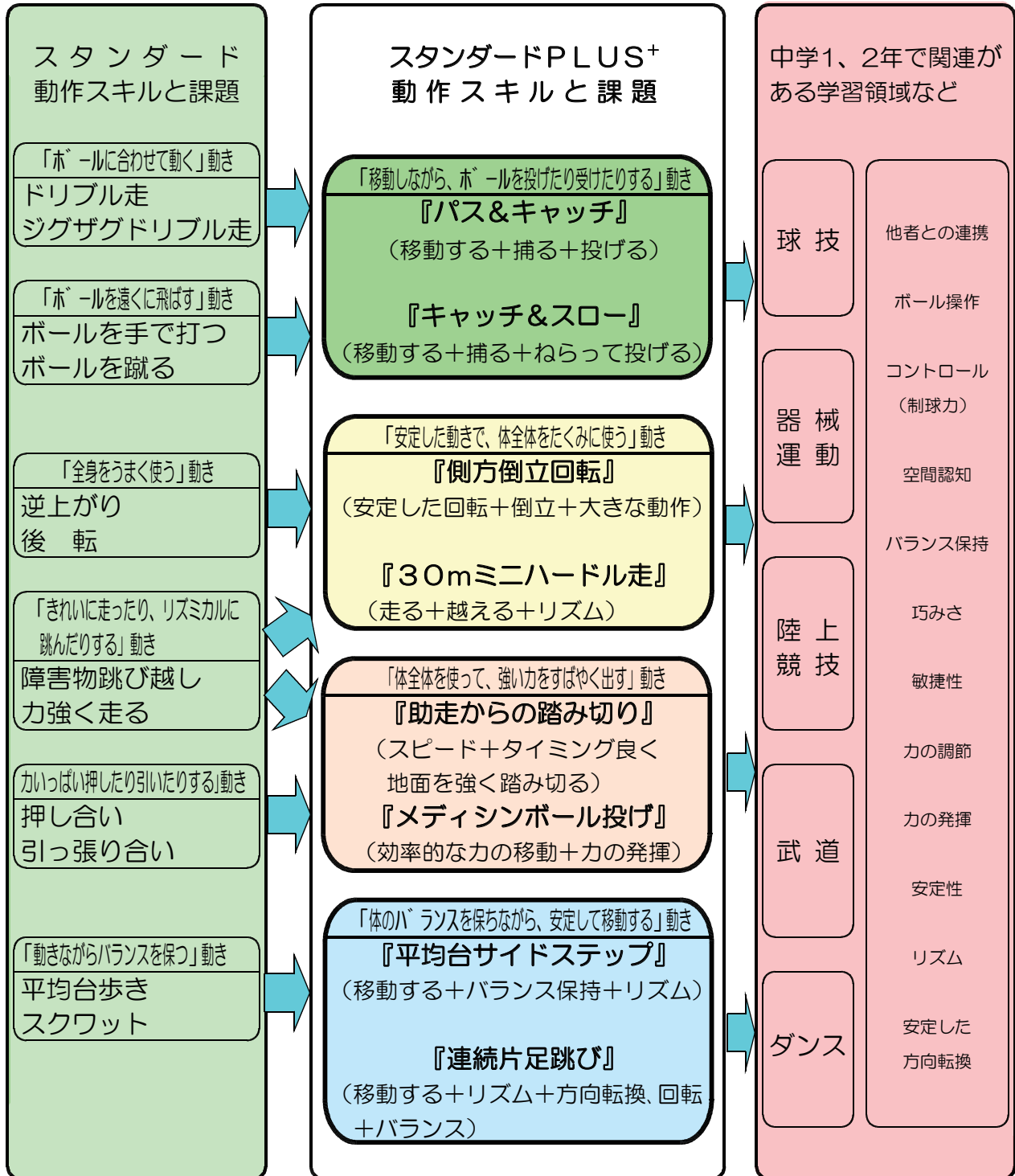
小学校			中学校	
1、2年	3、4年	5、6年	1、2年	3年
体づくり運動				
器械・器具を使つての運動遊び	器械運動			
走・跳の運動遊び	走・跳の運動	陸上運動	陸上競技	
水遊び	浮く・泳ぐ運動		水 泳	
ゲーム		ボール運動	球 技	
表現リズム遊び	表現運動		ダンス	
			武 道	
			体育理論	

【スタンダードに関連する動きの系統性】

〔小学校3、4年生〕

〔小学校5、6年生〕

〔中学生〕



6年間を見通した年間指導計画

「京の子ども元気なからだスタンダード」などを活用した年間指導計画例

体育科において6年間を見通した系統性のある年間指導計画の作成が重視されています。2学年をひとつのまとまりとして計画を立てることで、指導内容が明確化されます。設定した目標を達成できるよう、単元計画を立てましょう。

(単元計画も2年間のまとまりで立てるようになると良いでしょう。)